



Environmental Report 29

環境経営レポート

対象期間 2018年10月～2019年9月



森林と共生できる暮らしを！



MEIKYO

明京電機株式会社

1.	組織の概要	2/17
	■ 事業所名及び代表者	
	■ 所在地	
	■ 環境管理責任者及び担当者	
	■ 事業の概要	
	■ 事業規模	
	■ 製品紹介	
2.	対象範囲	4/17
	■ 認証・登録番号	
	■ 認証・登録範囲	
	■ レポートの対象期間	
	■ 発行日	
3.	環境経営方針	4/17
	■ 基本理念	
	■ 環境経営方針	
4.	短期（29期）・中期（32期）環境経営目標	5/17
5.	環境経営計画	6/17
6.	環境経営計画に基づき実施した取組内容	7/17
	■ 実施体制	
	■ 実施した取組内容	
7.	-1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	9/17
	● 実績には二酸化炭素排出量を含みます。	
	-2 来期（30期）の環境経営目標及び環境経営計画	13/17
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	15/17
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	16/17
	TOPICS	17/17

1. 組織の概要

事業所名及び代表者

明京電機株式会社
代表取締役 社長 寺地 辰己

所在地

〒114-0012
東京都北区田端新町 1-1-14
東京フェライトビル 4F
電話 03-3810-5580
FAX 03-3810-5546



2015年9月移転 東京フェライトビル4F

環境責任者及び担当者

管理責任者	石河 昇
連絡先	電話 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546
	E-mail ishikawa@meikyo.co.jp
環境事務局	山内 由起子
推進委員	中島 さつき

事業の概要

- ・ ネットワーク機器の開発・製造・販売
- ・ 測定制御機器の開発・製造・販売
- ・ 特殊ハード製品の開発・製造・販売
- ・ ソフトウェアの受託開発
- ・ Date Center 市場向 PDU の輸入・販売

事業規模

創立	平成2年
設立	平成2年
資本金	3000万円
年商	452百万円
	(29期：2018年10月1日～2019年9月30日)
従業員	33名（契約及びパート社員含む）
延床面積	本館4F 約330㎡ 別館2F 約150㎡

製品紹介

「より安全に！より安心に！より快適に！」をコンセプトに新しく生まれ変わりました。

フリーズした機器を検出して自動電源リポート！



- ・危険な利用を防止する初期警告表示 (PSE 対応)
- ・ハートビート監視機能追加
- ・メールによるライブ通知機能追加
- ・通知メールへの CC 送信、BCC 送信対応
- ・TELNET ログインのセキュリティ強化
- ・多重ログインによる誤操作防止 (多重ログインの禁止、PSE 対応)
- ・Web 操作によるバージョンアップ機能
- ・SNMP の SET リクエストによる電源制御機能削除 (PSE 対応)

PoE機器の障害を最短で復旧し、安定稼働を実現！



従来のリポーターでは、100Vの電源制御だけでしたが、PoE リポーターは PoE ハブのポート単位制御もできるようになりました。PoE ハブに接続された、最大 8 個の PoE 機器 (アクセスポイントや IP カメラ、IP 電話機など) に対して、PING による死活監視もできます。PoE 給電された機器の個別 OFF/ON (リポート) が可能になりました。



POSE

POSE は、ネットワーク対応の接点入出力の監視、制御を行う装置です。ブラウザや E-mail 等で、遠隔地の接点を自在に監視、制御することができます。

BEADS

BEADS はネットワークに依存せず、2つの接点入力状態により AC100V 電源制御とブザー音を制御できます。



正式発売に先駆けてモニター様募集中

弊社のデジタルサイネージ用リポーター RPC-M5CSi はプレイヤーがフリーズしたり動画再生が止まってしまった場合、独自の CPU 解析アルゴリズムにより、フリーズが起きたと判断し、ハートビートのパケット送信を停止します。PING の疎通だけでは検出できないアプリケーションレベルのフリーズを自動検出します。

SIGNAGE REBOOTER
Heart Beat & CPU Algorithm
RPC-M5CSi

お客様からクレームが来る前に！

自動検出

ハートビート監視機能及び、CPU 解析アルゴリズムで STB のフリーズをいち早く検出！

SIGNAGE REBOOTER
RPC-M5CSi

現地へ駆けつけていませんか？

自動 OS シャットダウン

STB の OS をシャットダウン & 再起動し、正常稼働に必要なクリアな状態にします。

不具合な画面になっていませんか？

ブルー画面を見せない

ディスプレイを電源自動 OFF し、STB 再起動中の画面を消します。

2. 対象範囲

認証・登録番号	0007178
認証・登録範囲	・遠隔電源制御機器の開発・製造および販売 ・Date Center 市場向 PDU の輸入・販売
対象期間	2018年10月1日より2019年9月30日まで
発行日	2019年10月31日

3. 環境経営方針

基本理念

明京電機株式会社は、より高度化していく情報ネットワーク社会に対応して限りある資源を有効活用するための製品作りに寄与すると共に、自らの技術を追求し、社会に貢献してゆくことを企業理念とします。

経営と環境が融合した環境経営システムを基盤とし、環境への負荷削減を目指す事業活動並びに限りある資源を有効活用するための製品・サービスの提供に取り組み続けます。環境経営への取組みに当たっては、中期目標の設定、環境関連法規などの遵守、活動方針に基づく全従業員参画による環境活動などを実践し、環境経営を継続させ、そして改善し、持続可能で幸せな社会を目指すことに努めます。

環境経営方針

1. 「環境汚染の予防と環境保全活動」を実行し、法令遵守に努めます。
2. 電力、水等の資源を大切に使い、二酸化炭素の削減および水資源の削減に努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクル化に努めます。
4. 化学物質についてはその維持管理に努めます。
5. 提供する製品サービスについては環境に配慮した製品を供給することに努めます。
6. グリーン購入については環境に配慮した資材購入に努めます。
7. 環境方針について全従業員に周知し、環境意識の高揚に努めます。

2019年9月30日
明京電機株式会社
代表取締役 社長

寺地 辰己

4. 短期（29期）・中期（32期）環境経営目標

* 中期の環境経営目標は事業計画に関連づけられています。

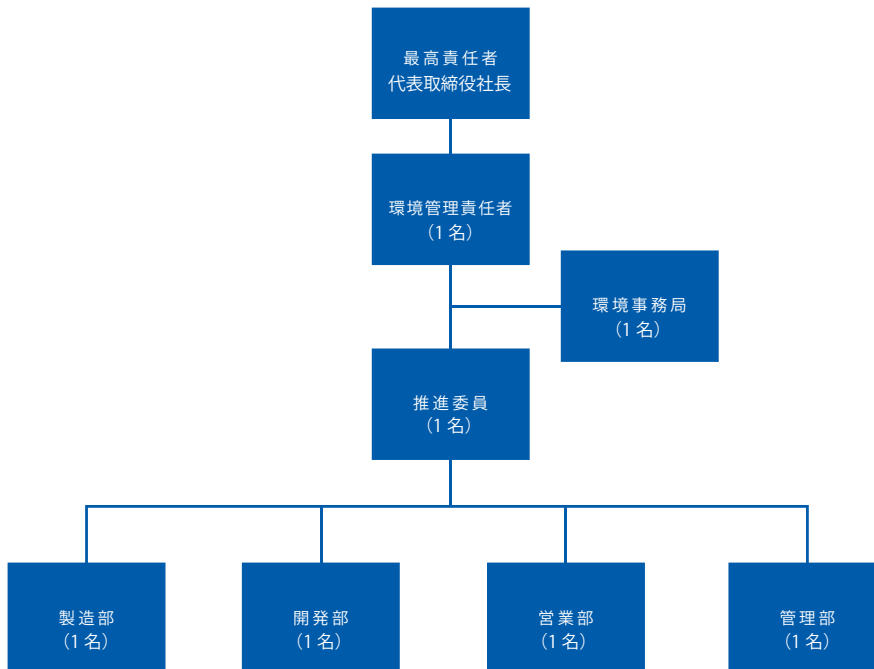
	短期目標 【29期】2018年10月1日～2019年9月30日	中期目標 【32期】2021年10月1日～2022年9月30日
二酸化炭素	11,485 kg-CO2	16,518 kg-CO2
	※排出係数は継続して「0.425kg-CO2/kWh」を使用。	
電力	27,025 kWh	38,868 kWh
灯油	0 L	0 L
ガス	0 Nm3	0 Nm3
ガソリン	0 L	0 L
水	163 L	234 L
資源	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の購入 220 kg ・梱包材使用量 3.111 t ・グリーン購入 推進 	<ul style="list-style-type: none"> 316 kg 4.474 t 推進
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ削減 1,980 kg 【内訳】 一般事業系廃棄物 1,600kg 産業廃棄物 380kg 	<ul style="list-style-type: none"> 2,847 kg 【内訳】 一般事業系廃棄物 2,301kg 産業廃棄物 546kg
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・RoHS 指令 遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 遵守
災害訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全ビル一斉の消防訓練参加 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 1回/年

5. 環境経営計画

■二酸化炭素	内容	担当	日程
電力 (KWh)	①定期的な消灯 各部署にて時間を定めて消灯を実施。	営業部、開発部、製造部	随時
	②冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。(室温 20℃目処)	営業部、開発部、製造部	随時
	夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。(室温 26℃目処)	営業部、開発部、製造部	随時
	③PC 電源を未使用時、OFF にすることを励行。	営業部、開発部、製造部	随時
	④コピー機の省エネ使用。	営業部、製造部	随時
	⑤蛍光灯の LED 化の推進。	管理部	随時
灯油 (L)	未使用	----	----
ガス (Nm3)	未使用	----	----
ガソリン (L)	社用車を継続廃止。外出は極力公共機関を使用。	----	----
二酸化炭素 (kg-CO2)	<small>電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) -平成 29 年実績- H30.12.27 環境省・経済産業省公表 東京電力エナジーパートナー(株)/(参考値) 事業者全体の調整後排出係数 0.000474 (t-CO2/k Wh) を使用。</small>		
■水			
上水 (m³)	①無駄のない水使用励行。	管理部	随時
下水 (m³)	①トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底。	管理部	随時
■資源			
購入品の削減 再生紙 (kg)	①両面コピー励行。	営業部、製造部	随時
	②不必要な F A X のコピー化削減。	管理部	随時
	③再生紙を 100%使用。	管理部	随時
梱包材 (kg)	①リユースを考慮した梱包材使用推進。	開発部	随時
	②使用実績を取ることを習慣化する。	製造部	随時
グリーン購入の推進	環境対応商品マーク(エコマーク)の付いた商品を購入する。	製造部	随時
■廃棄物			
ごみ削減 (kg)	リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。	管理部	随時
■環境保全			
R o H S 指令	①現行の RoHS 対応部品を購入することを継続する。	製造部	随時
	②製品開発時に RoHS 指令を遵守する。	開発部、製造部	随時
■災害訓練の実施			
	全ビル一斉の消防訓練の社内参加者を選出。 ビル管理会社と連携を保ち、訓練に参加する。	デザイン部	9月

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

実施体制



最高責任者
代表取締役社長

- 1) 環境経営方針の策定及び制定
- 2) 経営資源の準備
- 3) システムの見直し・改定・評価
- 4) 環境経営レポートの承認

環境管理責任者
(1名)

- 1) システムの確立・実施・維持管理
- 2) 環境経営目標及び計画の策定
- 3) 環境経営レポートの作成
- 4) 環境管理委員会の開催とその運営
- 5) 教育・訓練の計画と実施
- 6) 環境関連法規の遵守確認

環境事務局
(1名)

- 1) 管理責任者の補佐業務
- 2) 環境文章及び記録の作成・管理
- 3) その他の EA21 に関する業務全般

推進委員
(1名)

- 1) 廃棄物分別管理の記録
- 2) 作業工程の各種改善

各部
(各1名)

- 1) 環境方針の周知
- 2) 計画の実施及び達成状況の報告
- 3) 自部門の問題点の発見、是正、予防処置

実施した取組内容

■二酸化炭素削減

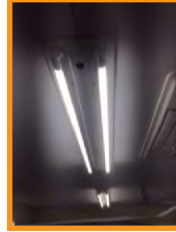
節電シールで啓蒙活動。
スイッチやPCに。



使っていない
部屋は必ず消灯。



照明 LED 化。
予算の許す範囲で変更。



率先して消灯。



ちょっと席を外す時も
消灯などを心がけて
節電しています。

後付けファン



冷房効率が良くなるよう
エアコンにファンを付けました。

人がいなければ
エアコン切って節電。



お昼休みはエアコンを
切って節電です。

社用車の廃止。
外出は極力公共機関を使用しています。



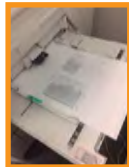
運送費軽減。

大量出荷は JITBOX チャーター便の利用。



■資源

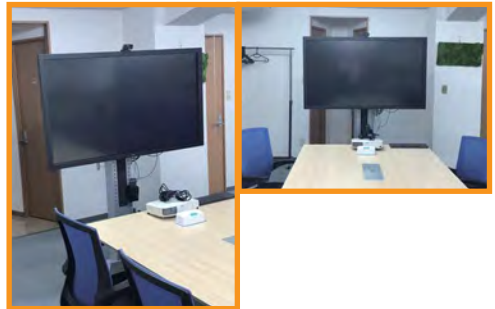
コピー用紙の
裏印刷



MPR 活用
ペーパーレス化推進。



会議室にモニター導入
会議資料の削減推進。



■廃棄物

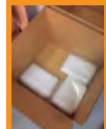
梱包資材のリユースでゴミ削減
通い箱



エアキャップ



ポリ袋

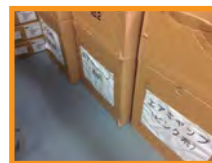


ダンボール



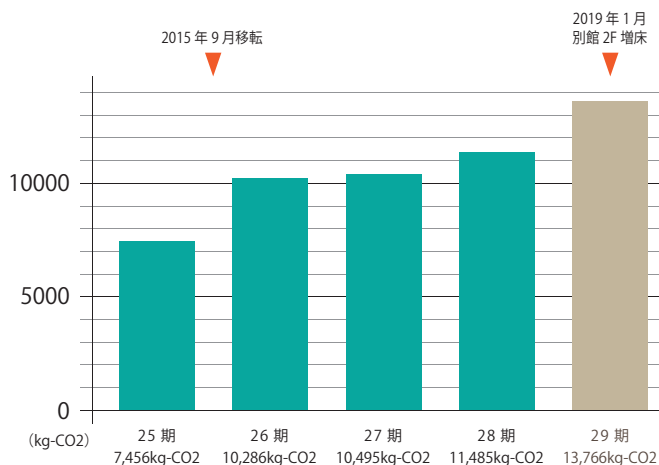
リサイクル

エアキャップを分別し
専門業者へ委託。



7. -1) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

(1) 二酸化炭素



目標 11,485kg-CO2

実績 13,766kg-CO2

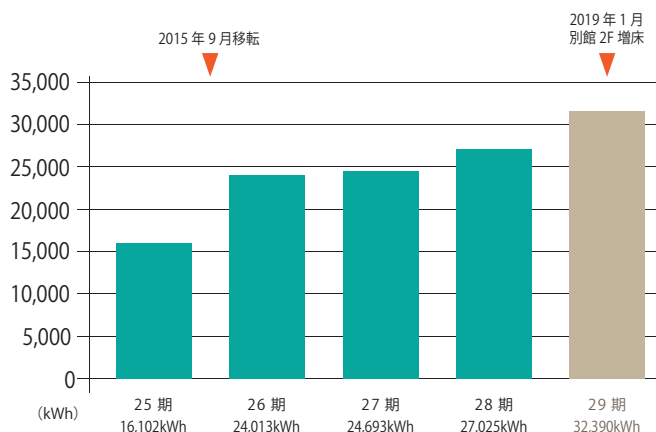
結果 ×

【結果】 未達です。

2,281kWhの増加となりました。

【評価】 30期は短期・中期事業計画上の数値12,978kg-CO2を目指すとします。取組も継続とします。

(2) 電気使用量



目標 27,025kWh

実績 32,390kWh

結果 ×

【結果】 未達です。

5,365kWhの増加となりました。

【評価】 別館2F増床が主な要因と思われます。約1.5倍の増床に対し、電気使用量は約1.2倍の増加となっています。この電気使用量も30期は短期・中期計画上の数値30,538kWhを目標とします。

(3) 灯油使用量 5期連続目標達成：0

(4) ガス使用量 5期連続目標達成：0

(5) ガソリン使用量 3期連続目標達成：0

(3) 灯油・(4) ガス・(5) ガソリン

目標 0・0・0

実績 0・0・0

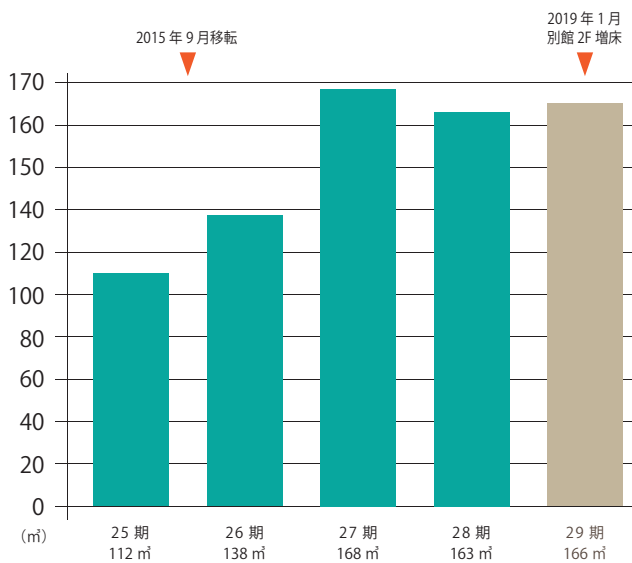
結果 ○・○・○

【結果】 達成しました。

灯油、ガスそしてガソリン、全て使用量「0」です。

【評価】 来期も継続「0」を目指します。

(6) 水使用量



目標 163 m³

実績 166 m³

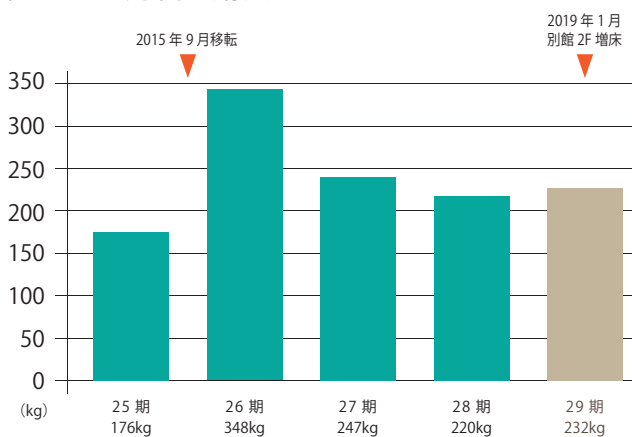
結果 ✕

【結果】 惜しむらく、未達です。

3 m³の増加となりました。

【評価】 社員数が30名から33名と増えたにも係わらず、水の使用量はほとんど変わっていません。数字結果では未達ですが内容的には申し分のない結果といえます。30期は短期・中期事業計画上の目標184Lを目指します。

(7) コピー用紙の購入



目標 220kg

実績 232kg

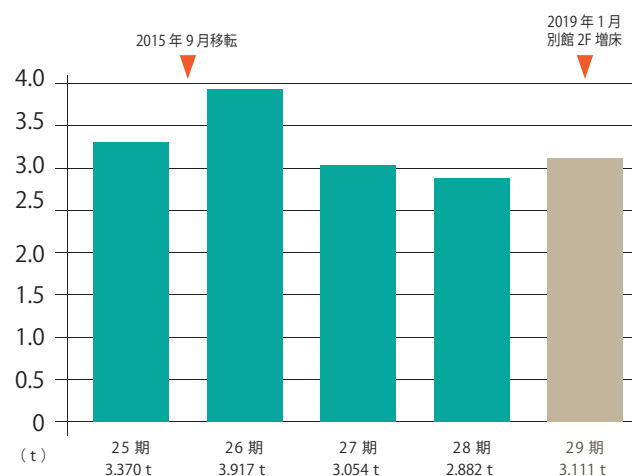
結果 ✕

【結果】 惜しむらく、未達です。

12kgの増加です。

【評価】 30期は増員計画もあり、仕事総量も増加してゆきますが会議室モニターの活用などを推進し、短期・中期計画の249kgを目標とします。

(8) 梱包材使用量



目標 2.882 t

実績 3.111 t

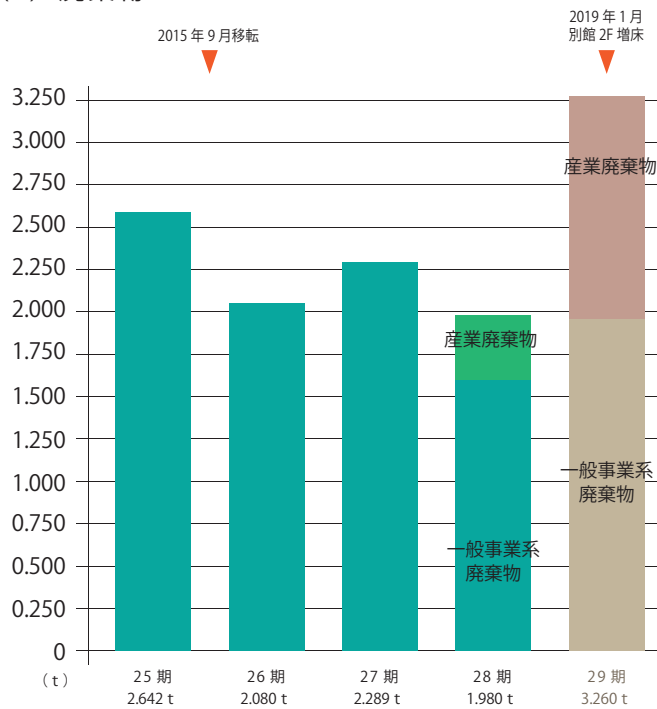
結果 ✕

【結果】 未達です。

0.229 tの増加です。

【評価】 生産総数の増加に伴う、梱包材使用量の増加です。新製品開発の際は梱包材減へ向けての考慮が必要です。

(9) 廃棄物



目標

1.980 t

実績

3.260 t

結果

×

【結果】 未達です。

1.280 tの増加です。

【評価】 特殊な実験に使用した梱包材の廃棄が影響したようです。今期のみの特化した廃棄物増です。30期はやはり短期・中期計画上の数値 2,237kg を目標とします。

(12) 災害訓練の実施

■消火器の説明と実施訓練



目標

訓練参加

実績

訓練参加

結果

○

【結果】 参加しました。

【評価】 今年は消火器の説明と扱い方の実施訓練及び緩降機の説明及び防災担当による緩降機を使用して、実際に5階から飛び降りる脱出デモが行われました。貴重な体験です。来期も参加するよう指示しました。

■緩降機の説明と5階からの脱出デモ



7. - 2 来期（30期）の環境経営目標及び環境経営計画

* 環境経営の目標は事業計画に関連づけられています。

<p>二酸化炭素</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">12,978 kg-CO2</p> <p>※29期環境経営レポートから係数の見直しを行った。 ※参考資料：H30.12.27 環境省・経済産業省公表 電気事業者別排出係数 （特定排出者の温室効果ガス排出量算定用） ※調整後排出係数：東京電力エナジーパートナー株の（参考値）事業者全体：0.000474を使用。</p>
<p>電力</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">30,538 kWh</p> <p>【環境経営計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定期的な消灯 各部署にて時間を定めての消灯を実施 2) エアコンの適正温度設定 冬：エアコンの設定温度を上げすぎない。 （室温 20℃目処） 夏：エアコンの設定温度を下げすぎない。 （室温 26℃目処） 3) パソコンの電源管理 未使用時の電源 OFF を励行 4) コピー機の省エネ使用 5) 蛍光灯の LED 化の推進 6) 開発試験、実験の計画的な実施
<p>灯油</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 L</p>
<p>灯油</p>	<p>【環境経営計画】</p> <p>灯油ストーブの継続廃止</p>
<p>ガス</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 Nm3</p> <p>【環境経営計画】</p> <p>未使用継続</p>
<p>ガソリン</p>	<p>【環境経営目標】</p> <p style="text-align: center;">0 L</p> <p>【環境経営計画】</p> <p>社用車を継続廃止。外出は極力公共機関を使用。</p>

水	【環境経営目標】	水使用量	184 L
		【環境経営計画】 無駄のない水使用取行 トイレの洗浄レバーの大・小の使用徹底	
資源	【環境経営目標】	コピー用紙の購入	249 kg
		【環境経営計画】 1) 両面コピー取行 2) 不必要な FAX のコピー化削減 3) 再生紙 100%使用	
	【環境経営目標】	梱包材使用量	3.515 t
		【環境経営計画】 1) リユースを考慮した梱包材使用推進 2) 使用実績の集計を習慣化する。	
	【環境経営目標】	グリーン購入	推進
		【環境経営計画】 エコマーク商品の購入促進	
廃棄物	【環境経営目標】	ごみ削減	2,237 kg
		【内訳】 一般事業系廃棄物 1,808kg 産業廃棄物 429kg	
	【環境経営計画】	リユース・リサイクル・リデュースを考慮したごみ削減を推進する。	
環境保全	【環境経営目標】	RoHS 指令	遵守
		【環境経営計画】 1) 現行の RoHS 対応部品購入を継続する。 2) 新製品はすべて RoHS 対応とする。	
災害訓練の実施	【環境経営目標】	全ビル一斉消防訓練参加	1 回 / 年
		【環境経営計画】 全ビル一斉の消防訓練参加者を選出。 ビル管理会社と連携を保ち、訓練に参加する。	

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

関連法規制の遵守状況確認を毎年1回実施しており、違反はありませんでした。

法規制違反の指摘及び訴訟の請求は過去5年以上ありません。

また地域住民などからの苦情は過去5年以上ありません。

「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」は社用車廃止の為、削除しました。

●廃棄物の処理および清掃に関する法律（廃掃法）

遵守

▶ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出日： 2019年4月19日

●家電リサイクル法

遵守

●RoHS 指令

遵守

苦情受付窓口

石河 昇

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

Eco Action 21 の活動を始めた 2011 年頃の弊社年商は 2 億円前後でしたが、現在は 5 億円程に成長しています。当時は二酸化炭素の排出量が 10,000kg-CO₂ 前後、そして近年は 11,000~13,000kg-CO₂ との結果となっています。業績向上に比較して、二酸化炭素排出量の増加率は低く抑えられています。売りに上げに比例し仕事量や生産数量も増加していますが方針や社員の取組みの効果がはっきりと結果の数字に反映されていると確信しています。中期計画でも業績のアップは必須としています。二酸化炭素排出量は同比率の数字を目標としました。これ以上の二酸化炭素排出量の比率アップは避けたいところです。社内指示も同様に行っています。弊社電源制御機器（リブーター）も IT システムの電源を無駄にしない管理を促すよう、またさらに貢献できるようにシステム保守に焦点を絞り、ホームページの代表挨拶も修正加筆しました。顧客様へも活動の主旨をアプローチしています。

30 期も 29 期同様、増員増床の計画をしています。新活動年度（新経営年度）においては新たな環境の中での活動となります。データ収集に主眼を置くことになりそうですが今期同様の数字を目標にしました。29 期の活動結果はほとんど未達でしたが微増の項目も見当たり、取組みが真摯に継続された結果と思われます。



「足るを知る」の話

気候変動をはじめ、持続可能性の問題は私たちの時代の大きな課題です。それにどのように取り組むのか？その解決に資することができるのか？システムダイナミクスという専門領域にしても、そのほかの学問領域にしてもそれが問われています。これはハーマン・デイリーのピラミッドモデルですが、私たちは地球から原材料を得てモノやサービスを作り出し消費しています。しかし、究極の目的はスマホやクルマといったモノではなく、それが作り出すであろう幸せです。しかし、現在の経済や社会では「どれだけの原材料からどれだけの製品を作ったか」という狭い効率化だけに目を向けています。そうではなく、見えにくいつながりをたどって全体像をとらえること、根底の持続可能性と、地球から取り出す原材料から究極の目的である幸せまでの一貫通貫の効率を考えること、そして、みんなが幸せであるためにはどうしたらよいかを考えていく必要があります。つながりを見える化し、シミュレーションモデルをつくることで本当に取り組むべきはどこかを示すことのできる可能性がシステムダイナミクスにはあります。高い期待を持っています。また、ドネラ・メドゥズが整理した、システムを変えるための 12 のレバレッジポイントも非常に役に立ちます。先ほど話したような価値観を変えることは、難しいけれどレバレッジの大きな介入点となります。そういう意味でも、足るを知る、「限界の範囲内の幸せ」という考え方、それこそが持続可能な幸せにつながるのだと言うことを私たちアジア人もしっかり考えつつ、世界にも伝えていかなくてはと思うのです。

参照資料：

持続可能で幸せな未来へ向かう日本の動きを世界へ

JFS ニュースレター No.174 (2017 年 2 月号)

「持続可能な社会へ向けて～江戸時代からの学び、アジアから世界への貢献

「まとめ」を引用

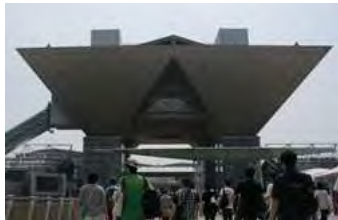
次回の環境活動レポートは 2020 年 11 月頃の予定です。

2019 年 10 月 30 日
代表取締役 社長

寺地 辰己

展示会 出展 エトセトラ

■20181024_ ITWeek



東京ビッグサイト（西展示棟／晴海展示棟）で、「Japan IT Week 2019 [春・後期]」が開催されました（5月8日（水）～10日（金））。今回は、4月に開催された「Japan IT Week 2019 [春・前期]」の来場者数 34,285 人を上回る、66,2051 人が来場。明京電機株式会社&GEIST も出展。

■20190327_ DSE_Las Vegas

新しい時代に備えていますか？

「エクスペリエンスの時代」到来。

時代を牽引する画期的な技術やソリューションを見るために、世界中から人々が訪れる国際イベント。それがデジタルサイネージエキスポ（DSE）です。

